

カリキュラムが新しくなりました!

第94期 物流技術管理士 資格認定講座

〈9月東京開催〉

**CERTIFIED
LOGISTICS
MASTER
COURSE**

ここが変わりました!「新カリキュラムのポイント!」

- 「グローバルロジスティクス」単元を新設(第10単元)
- 「物流アウトソーシングと3PL」単元を新設(第11単元)
- 「ロジスティクスの社会的役割」CSRの講義の追加・拡充(第2単元)
- ヒューマンネットワーク構築のための「懇親会」を実施(プレミーティング)など

第94期物流技術管理士資格認定講座開催日程

プレミーティング	9月15日(木)~9月16日(金)	第8単元	11月16日(水)~11月17日(木)
第1単元	9月27日(火)	第9単元	12月8日(木)
第2単元	9月28日(水)	第10単元	12月9日(金)
第3単元	9月29日(木)	第11単元	12月14日(水)
第4単元	10月6日(木)~10月7日(金)	第12単元	12月15日(木)
第5単元	10月18日(火)~10月19日(水)	第13単元	1月19日(木)~1月20日(金)
第6単元	10月27日(木)~10月28日(金)	面接試験	2月18日(土)
第7単元	11月8日(火)~11月9日(水)	資格認定証授与式	3月9日(金)

第94期 物流技術管理士資格認定講座 開催にあたって

このたびの東日本大震災は、各地に甚大な被害をもたらしたばかりでなく、サプライチェーンを分断し、国内のみならずグローバルな経済活動全体にも大きな影響を与えております。また、震災の社会的、経済的な影響に加え、社会インフラとしての物流・ロジスティクスの重要性をあらためて認識することとなりました。

さて、グローバルロジスティクスの進展に伴い、中国を始めとした新興国の台頭によって、各国企業との競争激化は一段と厳しさを増しております。わが国企業が継続的に収益性を高め、競争優位を確立するためには、安心・安全と環境に対応する全体最適なサプライチェーンを再構築することが急務であり、ロジスティクスの構築と高度化・効率化が経営戦略上、ますます重要となってまいります。

このような状況において、ロジスティクスの構築とその高度化・効率化のためには、物流・ロジスティクスにおける広範な知識や技法を活用できる優れたスペシャリストの育成が不可欠であります。

そこで当協会では、物流とロジスティクスを総合的かつ体系的に学んでいただくために、「物流技術管理士資格認定講座」を開講いたしております。理論と実務を踏まえた講義内容は、産業界からも高い評価をいただき、これまでに8,000名を超える物流技術管理士が誕生し、各分野で活躍しておられます。

2011年度からは、産業界のニーズに対応するために「グローバルロジスティクス」や、「物流アウトソーシング・3PL」などを新たに単元として設けるとともに、環境分野の内容も拡充し、より充実したカリキュラム内容といたしております。貴社における物流スペシャリスト育成の場として、ぜひ積極的に本講座をご活用くださいますようお願い申し上げます。

公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会
会長 西田 厚聰
(株式会社東芝 取締役会長)



物流技術管理士資格認定講座とは CERTIFIED LOGISTICS MASTER COURSE

<概要>

物流技術管理士資格認定講座は、物流管理者および物流技術者として必要な、物流・ロジスティクス・サプライチェーンマネジメントの全領域にわたる専門知識およびマネジメント技術を総合的かつ体系的に学ぶ講座です。

これまで、荷主企業の物流部門、物流子会社、物流事業者を中心に、情報システムや調査研究機関など、物流・ロジスティクスにかかわる様々な業種・企業の方々にご活用いただいております。

本講座を修了し、所定の試験に合格された方に、「物流技術管理士(英文名称:CERTIFIED LOGISTICS MASTER)」の資格が授与されます。

<カリキュラムの特徴>

カリキュラムは、プレミーティングと13の単元で構成され、受講日数は21日間です。物流・ロジスティクス分野を代表する講師陣による講義に加え、異業種メンバーによるグループ討議を豊富に取り入れ、実践力と応用力の習得を図ります。

ここが変わりました! 「新カリキュラムのポイント!」

単元の新設	単元内容の追加・拡充		ヒューマンネットワーク構築
<ul style="list-style-type: none"> ● 第10単元 グローバルロジスティクス ● 第11単元 物流アウトソーシングと3PL 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1単元 経営とロジスティクス ● 第2単元 ロジスティクスの社会的役割 ● 第3単元 包装技術 ● 第4単元 輸配送管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第5単元 物流拠点管理 ● 第9単元 在庫管理とSCM ● 第12単元 グリーンロジスティクス ● 第13単元 総合演習② 	<ul style="list-style-type: none"> ● 懇親会の実施 受講者相互のヒューマンネットワーク構築のためにプレミーティング初日終了後に懇親会を実施

受講対象

本講座の受講対象は以下の通りです。

物流に対する基本的な用語を理解している方(物流実務経験2年程度)もしくは「物流技術管理士補」の有資格者

※本講座は上記の要件を満たしている方を対象とした講義内容となっております。

物流技術管理士資格認定規程(抜粋)

物流技術管理士の資格認定を受けるには資格認定規程を満たす必要があります。ご参考までに、規程の一部を抜粋いたします。

資格認定規程については、開講式で詳細を説明いたします。ご不明な点は事務局にお問い合わせください。

○出席に関する規定:

全講義日数21日のうち、16日以上出席すること。また、所定の単元を欠席していないこと。

○レポートに関する規定:

前・後期2回分の受講レポートを提出していること。

○試験に関する規定:

客観試験(前・後期に2回実施)、論文試験、面接試験の全てを受験し、それぞれの試験の得点が満点の6割以上であり、かつ、全ての試験の合計点から欠席点と受講レポート遅延の減点を引いた総合点が60点以上であること。

講座派遣目的のご紹介

これまでに、ご派遣いただいた企業様における本講座の主な派遣目的をご紹介します。

1. 自社の物流人材育成キャリアパスへの組み込み

- 将来の幹部、リーダー候補の育成
- 物流、ロジスティクスのエキスパートの育成

2. 物流専門知識の習得や実践力の強化

- 物流、ロジスティクスに関連する全領域の専門知識の習得や体系的な整理
- トータルコスト低減に資する知識・技法の習得

<主として荷主企業>

- 委託先物流事業者の指導・管理に必要となる実物流に係る知識の習得
- 調達、生産、販売など他部門への提案力・調整力の強化

<主として物流事業者、物流子会社>

- 荷主視点で物流を捉えることによる改善施策立案能力や改善実践力の強化
- 提案営業力や3PL実践力の強化

3. 異業種交流、人的ネットワークの構築

- グループ演習等を通じた異業種の受講者との情報交換と視野の広がり
- 人的ネットワークの構築によるビジネスの拡大

資格取得者の活躍状況

物流技術管理士の資格を取得した方々の、活躍状況をご紹介します。

A社（自動車製造業）	海外販社向け補給部品の船積出荷において、各部門の生産性向上に向けた施策を実施し、リードタイムを約70%短縮し、コストも削減させることができました。
B社（総合物流業）	住宅建材における、トレーサビリティシステムを活用し、物流品質を改善した。また、邸別一括物流体制を確立した。
C社（倉庫業）	住宅建材メーカーの物流を再構築（物流拠点集約、物流業務費の変動費化等）し、総物流コストを約40%削減した（2009年度JILS物流合理化賞を受賞）。
D社（食品系物流子会社）	配車配送システムを活用し、復路輸送の空荷を防止し、運行効率を向上させた。
E社（自動車部品販売業）	新卒、新入社員向けの数十時間にわたる研修プログラムを策定し、社内教育を実施した。
F社（物流子会社）	物流改善に関する社内教育を実施した。また、JILSのセミナー等、外部で自社の事例を発表した。
G社（物流子会社）	社内に限らず、親会社の社内教育の講師を担当した。 社内勉強会のグループリーダーの大半は、物流技術管理士を取得した者が担当している。
H社（食品卸売業）	社内教育の一部の講師を、物流技術管理士を取得した者が担当している。
I社（総合物流業）	親会社の社内コンサルタントとして活躍し、その成果が認められ、分社化し、コンサルティング会社として独立した。

物流技術管理士専門委員会 委員

本講座は公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 能力開発委員会 物流技術管理士専門委員会の下、運営しております。

<委員名簿>

2011年1月現在（順不同、敬称略）

委員長	矢澤 秀雄	千葉商科大学 会計専門職大学院 会計ファイナンス研究科 特任教授	委員	湯浅 和夫	株式会社湯浅コンサルティング 代表取締役社長
副委員長	後藤 泰三	戦略物流研究所 所長	〃	渡邊 一衛	成蹊大学 理工学部 情報科学科 教授
〃	三木 楯彦	流通工学研究所 代表	〃	伊藤 秀行	株式会社ビー・アイ物流企画 代表取締役
委員	興村 徹	日本通運(株) 業務部 専任部長	〃	大塚 正視	株式会社セイノール商事 取締役 相談役
〃	黒坂 真一	株式会社中央ロジスティクス 運輸事業本部 企画部 企画部長	〃	高井 英造	株式会社フレームワークス 特別技術顧問
〃	酒井 路朗	エルディーシー研究所 所長	〃	津田 博	近畿大学 経営学部 准教授
〃	重田 靖男	株式会社東京ロジスティクス研究所 顧問	〃	松井 滋	名港海運(株) 取締役 輸入第2部長
〃	菅原 宏明	東芝ロジスティクス(株) 取締役 経営企画部長 兼 イノベーション推進部長 経営変革統括責任者	〃	右田 政三	株式会社デンソーロジテム 常務取締役 鴻池運輸(株)
〃	沼本 康明	情報戦略研究所 所長	〃	岡田 賢治	国内業務大阪第四部 参事 ロジ企画 ONO 代表
〃	林 正啓	日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 客員研究員	〃	小野 義	トヨタ部品大阪共販(株) 常務取締役 (ロジスティクス部門担当)
〃	坂 直登	坂技術士事務所 代表	〃	寺内 石一	株式会社フリーロケーション 代表取締役
〃	福島 和伸	城西大学 経営学部 教授	〃	長坂 悦敬	甲南大学 経営学部 教授 学長補佐・国際交流センター長
〃	藤巻 二三年	株式会社日本ロジスティクス研究所 代表取締役	〃	弥谷 恵太郎	加藤産業(株) 常務取締役 システム本部長
〃	丸山 正晃	アクセンチュア(株) 経営コンサルティング本部 SCM グループ プリンシパル	〃	山根 六三郎	シンク・テック・サービス(株) 代表取締役

プレミーティング

様々な知識・知見・経験をもった受講者同士が、与えられたテーマに対する自身の考えを述べ、互いの立場や考え方を尊重しながら、グループディスカッションを行い、問題の発見とその解決技法について学ぶ。

会場：
タイム24ビル

日時	講義名称	講義内容	講師
9/15(木)	10:00-12:00	開講式・オリエンテーション	事務局
	13:00-18:00	■グループ演習 問題の発見と解決	問題の抽出とその整理、問題の評価と課題設定、課題対策の立案 ※グループ演習では、約10名程度のメンバーでディスカッションを行います。
	18:30-20:00	◆懇親会	※名刺を多めにご用意ください。
9/16(金)	9:30-16:30	■グループ演習 問題の発見と解決、発表・講評	※初日に続きディスカッションを行い、グループ発表を行います。

第1単元

経営とロジスティクス

ロジスティクスの高度化・効率化が経営戦略上の最重要課題の一つとして位置づけられている。この単元では、経営とロジスティクスの視点から、ロジスティクスの役割、顧客サービスの考え方等について学ぶ。

会場：
タイム24ビル

日時	講義名称	講義内容	講師
9/27(火)	9:30-11:30	1. 企業価値を高める ロジスティクスの役割	物流管理とは、物流からロジスティクスへ至るプロセス等
	12:30-14:00	2. ロジスティクスにおける 顧客サービス	顧客とは、ロジスティクスにおける顧客サービスマネジメント、顧客満足のすすめ方等
	14:10-15:40	3. ロジスティクス戦略と ネットワーク	ロジスティクス戦略とは、ロジスティクスネットワーク、ネットワークの設計等
	15:50-17:40	4. ロジスティクス IT 概論	ロジスティクスにおける情報システムの役割・機能、情報システム構築のポイント、物流EDI等

第2単元

ロジスティクスの社会的役割

国民生活や経済活動を支えるロジスティクスが担う社会的役割は大きい。この単元では、ロジスティクスにおける社会的役割として重要である標準化、ロジスティクスの担い手である企業におけるCSR、行政の動向について学ぶ。

会場：
タイム24ビル

日時	講義名称	講義内容	講師
9/28(水)	9:30-11:00	1. 標準化	標準化の意義と方法、物流関連規格(JIS)、ユニットロードシステム等
	11:10-14:25	2. CSR	コンプライアンス、物流関連法規、労務管理等
	14:35-16:35		リスクマネジメント、保険等
	16:45-17:50	3. 行政の動向	行政の取組み、物流施策大綱、支援施策等

第3単元

包装技術

包装はサプライチェーン全体に深く関わっている。包装の目的、機能、設計について様々な視点から学ぶとともに、企業事例から包装資材の削減手法について学ぶ。

会場：
タイム24ビル

日時	講義名称	講義内容	講師
9/29(木)	9:30-15:30	1. 包装技術概論	ロジスティクスにおける包装の役割、包装の考え方、包装設計基礎、包装に関する法規制等
	15:40-16:40	2. 包装資材削減の事例	NEC ロジスティクスにおける包装資材削減事例等

第4单元		輸配送管理	荷主企業における物流費の約6割は輸配送に関連する費用である。物流の中核機能である輸配送管理に関する概論、情報技術の活用、システム構築等を講義や個人演習を通じて学ぶ。	会場： タイム24ビル
日時	講義名称	講義内容	講師	
10/6(木)	9:30-14:30	1. 輸配送管理概論	輸送モードの特徴、運賃・料金体系、輸送関連の法制度、モーダルシフト、ユニットロード 等	大塚 正視 氏 (株)セイノー商事 取締役 相談役
	14:40-17:10	2. 輸配送における IT 活用	輸送モード別 IT 活用の概要、支援技術、配車管理・運行管理・動態管理 等	光英システム(株)
10/7(金)	9:30-16:30	■個人演習 3. 輸配送システムの構築	輸配送システム構築のポイント、共同輸配送、クロスドッキング 等	坂 直登 氏 坂技術士事務所 代表

第5单元		物流拠点管理	物流拠点管理に関する実務的な技法や知識を学ぶとともに、物流拠点管理に欠かせない保管・荷役機能、マテハン機器、WMS等について、講義や演習を通じて学ぶ。	会場： タイム24ビル
日時	講義名称	講義内容	講師	
10/18(火)	9:30-16:30	■グループ演習 1. 物流拠点管理概論	物流拠点の役割・機能、流通チャネルと拠点配置、レイアウト技法 等	サカタウエアハウス(株)
10/19(水)	9:30-12:30	2. 保管・荷役とマテハン機器	保管・荷役の機能、倉庫の種類と倉庫管理のポイント、保管コスト、マテハン機器の特徴 等	鈴与(株)
	13:30-15:30	3. 物流拠点における IT 活用	拠点管理における IT 活用の概要、WMSの目的と機能 等	樋口 聡 氏 NEC システムテクノロジー(株) 第二産業ソリューション事業部 グループマネージャー (第35期物流技術管理士)
	15:40-17:40	4. 生産性と品質管理	拠点管理における生産性とその向上、組織の活性化、物流品質とは 等	重田 靖男 氏 (株)東京ロジスティクス研究所 顧問 (第20期物流技術管理士)

第6单元		科学的管理技法	物流業務の現状把握、分析、評価、改善の際に有効となる科学的管理技法(VA、IE、OR、QC)の基礎知識や、物流現場における実践的な改善方法について講義・演習を通じて学ぶ。	会場： タイム24ビル
日時	講義名称	講義内容	講師	
10/27(木)	9:30-17:30	1. 科学的管理技法概論	管理技術とは、科学的管理技法(VA、IE、OR、QC) 等	渡邊 一衛 氏 成蹊大学 理工学部 情報科学科 教授
10/28(金)	9:30-16:30	■個人演習 2. 物流現場の改善技法	問題のとらえ方、分析手法、物流改善の技法、改善事例 等	(株)日本能率協会コンサルティング

第7单元		総合演習①	総合演習①では、これまでに学んだ知識や技法を十分に活用し、グループディスカッションやケーススタディに取り組むことにより、自社の業務改善や課題解決に取り組む際の実践力を習得する。	会場： タイム24ビル
日時	講義名称	講義内容	講師	
11/8(火)	9:30-10:30	前期客観試験	前半の講義(第1~第6单元)の理解度を確認します	事務局
11/8(火)	11:00-18:00	■グループ演習	物流改善演習 (ケーススタディによるグループ演習)	(株)日本能率協会コンサルティング
11/9(水)	9:30-16:30	1. 物流改善演習	※総合演習①では、新たなグループ編成でディスカッションを行います。プレミーティングとは違った視点を取り入れながら課題解決に取り組みます	

第8單元

物流コスト管理

物流コストを削減するためには、物流コストを適切に把握、管理することが必要である。この單元では、物流コスト管理の基礎知識や、物流ABC等について、講義や演習を通じて学ぶ。

会場：
タイム24ビル

日時	講義名称	講義内容	講師
11/16(水)	9:30-12:30	1. 物流コスト概論	矢澤 秀雄 氏 千葉商科大学 会計専門職大学院 会計ファイナンス研究科 特任教授
	13:30-16:30	2. 物流ABC	岡田 和典 氏 岡田ビジネスディベロップメンツ 代表取締役
11/17(木)	9:30-16:30	■個人演習 3. 物流コスト計算	野田 洋史 氏 HI研究所 代表 (第7期物流士)

第9單元

在庫管理とSCM

商品ライフサイクルの短縮化に伴い、企業経営における在庫管理の重要性はますます高まっている。在庫管理とSCMについて、理論と実践の両面から学ぶ。

会場：
タイム24ビル

日時	講義名称	講義内容	講師
12/8(木)	9:30-12:00	1. 在庫管理とSCM概論	圓川 隆夫 氏 東京工業大学 大学院 社会理工学研究科 経営工学専攻 教授
	13:00-15:30	2. 在庫管理の実務	湯浅 和夫 氏 株式会社湯浅コンサルティング 代表取締役社長
	15:40-17:10	3. SCMの実務	平山 基 氏 株式会社シーモット 代表取締役

第10單元

グローバルロジスティクス

経済や企業活動のグローバル化の進展に伴い、グローバルロジスティクスの重要性はますます高まっている。グローバルロジスティクスの概要をはじめ、国際物流の基礎知識、様々な地域における物流事情等を学ぶ。

会場：
タイム24ビル

日時	講義名称	講義内容	講師
12/9(金)	9:30-11:30	1. グローバルロジスティクス概論	丸山 正晃 氏 アクセンチュア(株) 経営コンサルティング本部 SCM グループ プリンシパル
	12:30-14:30	2. 国際物流の基礎	吉本 隆一 日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 所長
	14:40-16:00	3. 各地域の物流事情	欧米、新興国、東南アジアにおける物流事情
	16:10-17:00	4. グローバルロジスティクスの事例	グローバルロジスティクスの取り組み事例 コマツ物流(株)

第11單元

物流アウトソーシングと3PL (サードパーティロジスティクス)

物流・ロジスティクス関連業務のアウトソーシング化が進展する中で、最適なロジスティクスを実現するためには、企業間連携が重要である。この單元では、物流アウトソーシングの目的やその担い手である3PLの役割、契約の重要性やポイント等について学ぶ。

会場：
タイム24ビル

日時	講義名称	講義内容	講師
12/14(水)	9:30-16:30	1. 物流アウトソーシング、3PL	藤巻 二三年 氏 株式会社日本ロジスティクス研究所 代表取締役 (第14期物流技術管理士)
		2. 3PLと契約	

第12单元

グリーンロジスティクス

地球環境問題は、ロジスティクス分野においても積極的に取り組まなければならない重要課題のひとつである。この单元では、ロジスティクスに関する法制度や行政の動向、環境負荷低減方策、環境負荷の定量的把握方法等について学ぶ。

会場：
タイム24ビル

日時	講義名称	講義内容	講師	
12/15(木)	9:30-11:30	1. グリーンロジスティクス概論	ロジスティクスと環境問題（グリーンロジスティクスとは）、環境関連法制度、行政の動向 等	矢野 裕児 氏 流通経済大学 流通情報学部 教授
	12:30-14:30	2. 輸配送・物流拠点における環境負荷低減	環境負荷低減方策事例（モーダルシフト、エコドライブなど）、環境配慮型物流拠点、包装資材等における環境負荷低減	菅田 勝 氏 株式会社ロジスティクス革新パートナーズ 代表取締役
	14:40-16:10	3. リバースロジスティクス	循環型社会形成とは、静脈物流、廃棄物・リサイクル関連法規、再資源化 等	山根 六三郎 氏 シンク・テック・サービス(株) 代表取締役
	16:20-17:50	4. 環境負荷の算定	環境負荷の定量的把握とは、環境負荷算定の考え方とその方法 等	北條 英 氏 日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター 副センター長
12/15(木)	18:00-18:30	論文試験出題	5000～6000字の論文を作成し、これまでの研修成果を確認します。作成期間は約1ヶ月です。	事務局

第13单元

総合演習②

総合演習②では、この講座で学んだ知識や技法を十分に活用し、物流改革に関するケーススタディに取り組み、この講座の受講成果を測る。

会場：
タイム24ビル

日時	講義名称	講義内容	講師	
1/19(木)	9:30-10:30	後期客観試験	後半の講義（第7～第12单元）の理解度を確認します	事務局
1/19(木)	11:00-18:00	■グループ演習 1. 総合演習とまとめ	物流システム再構築 ※総合演習②は、本講座の最重要プログラムとして位置づけています。プレミーティング時のグループ編成で、自身や他メンバーの成長を確認しつつ、課題解決を図ります。	中根 治 氏 株式会社ロジスティクス・サポート & パートナーズ 専務取締役
1/20(金)	9:30-16:30			

面接試験

2/18(土) 10:00-17:00 (1名 15分程度の面接)

会場：
タイム24ビル

資格認定証授与式・懇親会

3/9(金) 15:00-17:30 (資格認定証の授与)

会場：
タイム24ビル

2011年度物流技術管理士資格認定講座開催日程

単元	開催期 開催場所	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
		東京	大阪	東京	名古屋	東京	大阪
プレミーティング		5月10日(火)	6月7日(火)	7月12日(火)	9月6日(火)	9月15日(木)	10月6日(木)
		5月11日(水)	6月8日(水)	7月13日(水)	9月7日(水)	9月16日(金)	10月7日(金)
第1单元		5月24日(火)	6月21日(火)	7月26日(火)	9月13日(火)	9月27日(火)	10月18日(火)
第2单元		5月25日(水)	6月22日(水)	7月27日(水)	9月14日(水)	9月28日(水)	10月19日(水)
第3单元		5月26日(木)	6月23日(木)	7月28日(木)	9月15日(木)	9月29日(木)	10月20日(木)
第4单元		6月9日(木)	7月7日(木)	8月4日(木)	9月28日(水)	10月6日(木)	10月26日(水)
		6月10日(金)	7月8日(金)	8月5日(金)	9月29日(木)	10月7日(金)	10月27日(木)
第5单元		6月21日(火)	7月14日(木)	8月23日(火)	10月6日(木)	10月18日(火)	11月8日(火)
		6月22日(水)	7月15日(金)	8月24日(水)	10月7日(金)	10月19日(水)	11月9日(水)
第6单元		7月7日(木)	8月4日(木)	9月8日(木)	10月20日(木)	10月27日(木)	11月17日(木)
		7月8日(金)	8月5日(金)	9月9日(金)	10月21日(金)	10月28日(金)	11月18日(金)
第7单元		7月20日(水)	8月24日(水)	9月21日(水)	10月25日(火)	11月8日(火)	11月24日(木)
		7月21日(木)	8月25日(木)	9月22日(木)	10月26日(水)	11月9日(水)	11月25日(金)
第8单元		8月17日(水)	9月7日(水)	10月5日(水)	11月9日(水)	11月16日(水)	12月7日(水)
		8月18日(木)	9月8日(木)	10月6日(木)	11月10日(木)	11月17日(木)	12月8日(木)
第9单元		8月25日(木)	9月20日(火)	10月13日(木)	11月24日(木)	12月8日(木)	12月15日(木)
第10单元		8月26日(金)	9月21日(水)	10月14日(金)	11月25日(金)	12月9日(金)	12月16日(金)
第11单元		9月8日(木)	10月12日(水)	11月10日(木)	12月7日(水)	12月14日(水)	1月11日(水)
第12单元		9月9日(金)	10月13日(木)	11月11日(金)	12月8日(木)	12月15日(木)	1月12日(木)
第13单元		9月27日(火)	11月15日(火)	11月24日(木)	1月12日(木)	1月19日(木)	1月25日(水)
		9月28日(水)	11月16日(水)	11月25日(金)	1月13日(金)	1月20日(金)	1月26日(木)
面接試験		10月29日(土)	12月10日(土)	1月14日(土)	2月4日(土)	2月18日(土)	3月3日(土)
資格認定証授与式		11月22日(火)	1月20日(金)	2月3日(金)	2月24日(金)	3月9日(金)	3月23日(金)

受講申込書

申込FAX.03-5484-4031

受講申込規程

受講料

※下記金額には消費税が含まれております。

日本ロジスティクスシステム協会会員	472,500円 / 1名
上記会員外	577,500円 / 1名

●有資格者優待

当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にて受講いただけます。
該当する方は申込時に認定証のコピーを添付ください。
(対象:物流技術管理士補、国際物流管理士グリーンロジスティクス管理士、物流現場改善士)
◆日本ロジスティクスシステム協会会員420,000円
◆上記会員外525,000円

受講料に含まれるもの

1. テキスト、資料代 2. 審査料

受講対象

●物流に関する基本的な用語を理解している方(※物流実務経験2年程度)、もしくは物流技術管理士補の有資格者。

受講定員

120名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

受講申込方法

- 下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、ファックスまたは郵送にて事務局までお申し込みください。
- 「参加証」と「請求書」は受講日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
- 本講座の受け付けは、基本的に先着順とさせていただきます。あらかじめご了承ください。申し込みは、詳しくは人材教育部・各支部までお問い合わせください。

受講料支払い方法

- 請求書が届き次第、指定銀行の口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までにお願いたします。
(開催後になる場合は、入金予定日を受講申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料は、お客様にてご負担願います。

【お願い】

●受講予定の方のご都合が悪い場合は、全単元を代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
(注)キャンセルは、ファックスでのご連絡のみ申し受けます。

【キャンセル規定】 開催30日前～15日前(開催日初日含まず起算)受講料の10%
開催14日前～8日前受講料の20%
開催7日前～前々日受講料の30%
開催前日および当日受講料の全額
※キャンセル料は原則として消費税を除く受講料をもとに計算

ご注意

- テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はいたしておりません。
- 録音機の持込みはご遠慮ください。

受講申込先・プログラム内容の問い合わせ先

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

本部 〒105-0014 東京都港区芝2-28-8 芝2丁目ビル3F
人材教育部 TEL:(03)-5484-4021 FAX:(03)-5484-4031
関西支部 〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー19F
TEL:(06)-4797-2070 FAX:(06)-4797-2071
中部支部 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-12-17
TEL:(052)-588-3011 FAX:(052)-588-3012

会場案内

●タイム24ビル

東京都江東区青海2-4-32 TEL:03-5531-0024

個人情報の取り扱いについて

日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<http://www.logistics.or.jp/privacy.pdf>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

●第 ____ 期 物流技術管理士資格認定講座 ● ※期のご記入をお願いいたします

(フリガナ) () 会社・事業所名	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 会員外	支払予定日(開催後になる場合はご記入をお願いいたします) 月 日 支払予定
(フリガナ) () 派遣責任者	所属・役職名	
勤務先住所 〒 -	TEL: - - FAX: - - E-mail:	
(フリガナ) () 受講者1	所属・役職名	受付NO
勤務先住所 〒 -	TEL: - - FAX: - - E-mail:	
物流実務経験(年) <input type="checkbox"/> 有資格(資格名称:)		
(フリガナ) () 受講者2	所属・役職名	受付NO
勤務先住所 〒 -	TEL: - - FAX: - - E-mail:	
物流実務経験(年) <input type="checkbox"/> 有資格(資格名称:)		
名 円		※請求書は原則として合計金額を派遣責任者の方にお送りいたします。 その他、請求先のご希望は「協会への連絡事項」へご記入ください。

協会への連絡事項

受付日	請求日	請求番号